

減災のための目標(案)

江の川水系(下流)における水害の特徴

①下流部の山間部は狭窄部となっており洪水時に水位が急上昇し、計画高水位より低い土地に集落が点在するため、氾濫すると点在する集落が孤立する恐れがある

→避難に時間を要することから、**早めの避難勧告等の発令が必要**

②下流部では、主要な道路、鉄道が河川に沿って整備されているため、一旦、浸水してしまうと交通網がマヒし、水防活動に支障が生じる

→江の川水系の**氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動が必要**

③氾濫域には多くの人口・資産、行政・医療機関、鉄道といった重要な施設が多数あり、また、山間部では点在する多数の集落が氾濫するため、一旦、浸水してしまうと住民生活への影響は甚大

→住民生活を早期に復旧するための**効率的・機動的な排水対策が必要**



氾濫特性を踏まえた、適切な目標と取組方針の設定が重要

減災のための目標(案)

●5年間で達成すべき目標

山間狭窄部に点在する小集落などの地形特性を踏まえ、各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることができる「**江の川下流水害に強い地域づくり**」を目指す。

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

1. 住民自らが危機を認識した的確な**避難行動を行うための取組**
2. 氾濫特性を踏まえた効果的な**水防活動**
3. 浸水を一日も早く解消するための**排水対策**

○住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

～情報伝達、避難計画等に関する事項～

トップセミナーの実施

■「避難を促す緊急行動」の一環として、江津市、川本町、美郷町、邑南町と出水時の対応について説明・情報共有を継続実施。

対象市町

・江津市、川本町、美郷町、邑南町

主な説明・情報共有事項

- ・出水時に河川管理者から各自治体に提供する情報と対応
- ・重要水防箇所、危険箇所等の再確認
- ・市町村長の避難勧告等の判断支援や、住民の主体的避難を促進するための取組みに関する情報の提供



【江津市との出水時の対応についての情報共有の確認状況】

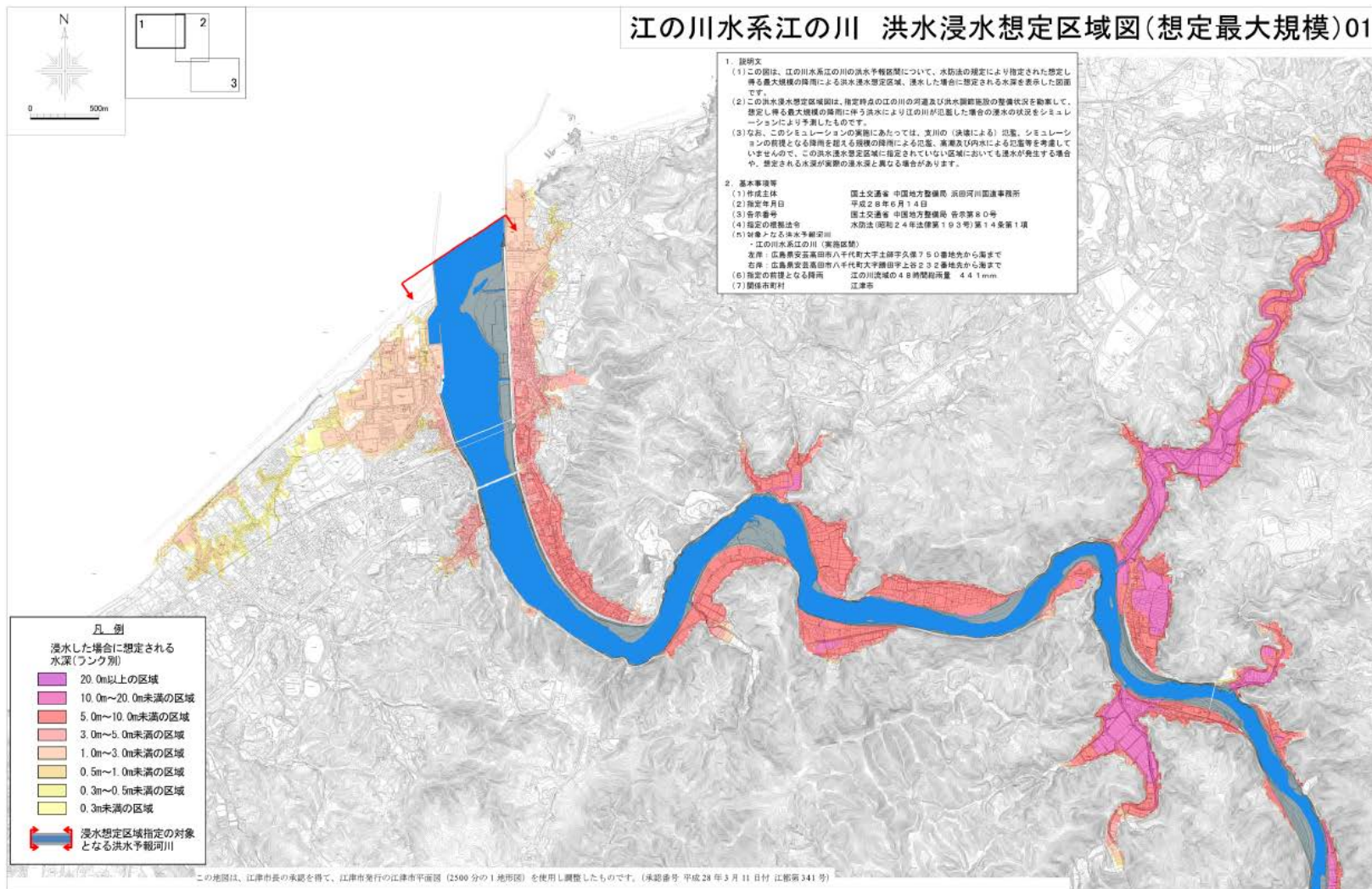
【江津市への説明状況】

○住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

～情報伝達、避難計画等に関する事項～

タイムラインやハザードマップの作成

■想定最大規模降雨による洪水の浸水想定を踏まえたタイムラインやハザードマップの作成に取り組む。



○住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

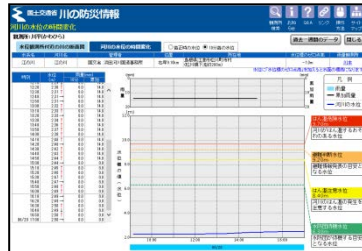
～情報伝達、避難計画等に関する事項～

河川のリアルタイム水位等の提供

■沿川住民に対し迫り来る危機を認識させるにはリアルタイムでの水位情報、映像情報が有効であり、その情報を提供することで住民の迅速な避難が可能となる。

そのため、必要な危険箇所には水位計を設置し、その情報を関係機関へ提供するよう検討を行う。

避難の参考となるダムや河川の状況(イメージ)



例: 川の防災情報
(水位情報)



例: 高水敷の冠水



例: 江津市内冠水

雨の降り始め

0h

6h後

危険度

8h後

12h後

24h後

※時間軸はイメージ

～平時から住民等への周知・教育・訓練に関する事項～

堤防越水時の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開

■江の川(下流)から越水した流水の破壊力について、直感的にわかりやすい動画を作成・公開することで、堤防から越水した流水の破壊力について直感的な注意喚起を促す。

○氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

～水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項～

水害リスクの高い箇所共同点検(現地確認)

■避難行動の理解を深めるため、江の川沿川の関係機関の方と一緒に、「洪水に対しリスクの高い区間」の共同点検(現地確認)を継続実施。



【江津市松平地域での共同点検の実施状況】



【川本町での共同点検の実施状況】



各市町における共同点検の参加者

市町	参加者
江津市 (金田地域)	地元自治会、消防団、江津警察署、江津邑智消防組合、江津市、国土交通省の担当者など16名が参加
江津市 (松平地域)	地元自治会、消防団、江津警察署、江津邑智消防組合、江津市、国土交通省の担当者など17名が参加
江津市 (松平地域)	地元自治会、消防団、江津警察署、江津邑智消防組合、江津市、国土交通省の担当者など21名が参加
川本町	地元自治会、消防団、川本町、国土交通省の担当者など17名が参加
美郷町	美郷町、国土交通省の担当者など19名が参加
邑南町	邑南町、国土交通省の担当者など4名が参加

○浸水を一日も早く解消するための排水対策

～氾濫水の排水、施設運用等に関する取組～

大規模災害を想定した排水計画(案)の作成

■過去の状況から想定される浸水箇所について、排水ポンプ車の設置位置や運搬ルートの確認等の総合的な排水計画を作成する。

排水ポンプ車排水訓練状況
(平成28年6月、江の川右岸(江津市渡津町))



排水ポンプ車運転状況
(平成22年7月出水、因原箇所)



○浸水を一日も早く解消するための排水対策

■災害発生による支援態勢を確保し広域的な支援を継続実施。



排水ポンプ車による排水



照明車により状況監視



応急組立橋梁

災害対策用機械配備一覧 [H28. 4. 1現在]

機 械 名	台 数
対策本部車	3
排水ポンプ車	33
照明車	24
衛星通信車	5
土のう造成機	1
造水機	2
応急組立橋梁	2
橋梁点検車	2
待機支援車	3
遠隔操縦装置	2
埋設物探査装置	2
分解対応型バックホウ	1
車両移動用アタッチメント	2

計 82

